

テーマ：「MSBC RADIO ~ FM あまがさき編 ~」
(県立武庫荘総合高校 放送部)

(2/23, 27 放送分)

稲村 皆さん、こんにちは。尼崎市長の稲村です。今回も、元気いっぱい、市内の高校生の皆さんによる番組をお楽しみいただきましょう。それでは、さっそくスタートです。どうぞ。

森本・大石 MSBC RADIO! 皆さん、こんにちは。

森本 MSBC RADIO の時間です。今回のこの時間は、武庫荘総合高校放送部 2 年森本理沙子と、大石 1 年大石穂がDJを務めます。

森本・大石 よろしくお祈いします。

大石 さて、今回は皆さんに、武庫荘総合高校、略して「武庫総」の最大の魅力でもある「総合学科」とは一体何なのかを、本校の生徒たちのインタビューを交えながら、皆さんにわかりやすく伝えていけたらなと思います。

森本 それではさっそく、武庫総の魅力に迫っていきましょう。

さて、大石さん。「武庫総の魅力」ってさっき言ってましたが、総合学科の何にそんなに惹かれて、この学校に入学したんですか？

大石 私はやっぱり、1 年次でする「産業社会と人間」という授業に惹かれたからですかね。

森本 なるほど。では、「産業社会と人間」について、掘り下げていきましょうか。

大石 はい。

森本 まず、「産業社会と人間」という授業について簡単に説明します。これは、1 年次で週 2 時間行っている、まさに総合学科にしかない特別な授業です。

大石 この授業では、これから私たちが「なりたい自分」へとなくなっていく基礎固めを行います。1 年を通して自分を知ることから始め、今、自分はどんな将来をおくりたいのかを、具体的に考える力を身につけていきます。今回は、活動発表で年次 1 位になったお 2 人にインタビューをしてきました。まずは、自主就業体験活動で 1 位になった宮内雄大さんのインタビューをお聞きください。

大石 自主就業体験ではどこに行きましたか。

宮内 ANA の大阪空港に行ってきました。

大石 なんでそこに行ったんですか。

宮内 小さいころから旅客機が好きで、物心がついた時から飛行機の周りで仕事がしたいと思っていたので、ここに決めました。

大石 体験をする前と後で、変わったことはありますか。

宮内 行く前は、華やかな感じで、楽しいんかなって思っていたんですが、意外に時間に追われて、切羽

詰まってやる仕事だったので、ちょっと驚きました。

大石 自主就業体験をしてみて、どう思いましたか。

宮内 体験して、臨機応変に行動しているスタッフさんを見て、自分も将来、こんな風なスタッフになりたいと決意できました。

大石 この体験をしてみて、どうでしたか。

宮内 この体験をしてみて、自分の知らない空港の裏側を知れて、とてもよかったです。

大石 いかがでしたか。自分で就業所を決められるからこそ、働きたい所に行けて、やる気もとても上がりますよね。

森本 そうですね。もちろん断られることもあります。諦めずにお願ひし、毎年 1 年次全員が、様々な就業所へ体験に行っています。活動後、生徒からは多くの「良かった」という声が聞こえてきます。

大石 続いては、ライフプランの発表で 1 位になった、阪上彰馬さんのインタビューをお聞きください。

大石 阪上君はどんなライフプランを発表しましたか。

阪上 自分が 50 歳になったときの一日を、発表しました。

大石 50 歳になった阪上君は、どんなことをしていましたか。

阪上 僕はペットが好きなので、自宅で家族とペットに戯れています。

大石 職業は？

阪上 映像関係の仕事に就いています。

大石 阪上君は、ライフプランをすぐ書けましたか。

阪上 「50 歳になった自分の一日」というテーマで決まってからは、ワサワサーって書けました。

大石 クラス代表になったとき、どんな気分でしたか。

阪上 自分が選ばれると思ってなかったんで、皆さん優しいお方やなって思いました。

大石 クラス代表として講義堂で発表するときは、どんな気持ちでしたか。

阪上 もう緊張して、あんまり生きてる心地しなかったです。スピーチを考えるときに、やっぱり自己満足じゃ駄目だから、聞くみんなにできる限り楽しんでもらえるのを、内容を考えるのが、難しくもあり、それが楽しかったです。

大石 先輩は、自分のライフプランをすぐに考えられましたか。

森本 私も阪上さんと一緒に、考えるのにとっても時間がかかりました。

大石 自分の未来を考えることは、とても難しいですよ。でも、そうやって今の自分と向き合い、自分なりの答えを出すことが、この授業では大切だったのではないかと思います。

先輩、2 年次からはどんなことに取り組んでいますか。

森本 総合的な学習の時間で、自分が興味を持ったことを 1 年かけて研究します。

大石 例えばどんなものがありますか。

森本 では、総合学科発表会で代表に選ばれた、相原芽衣さんのインタビューを聞いてみましょう。

森本 総合的な学習では、どのようなテーマについて調べましたか。

相原 日本以外の貧困の子供たちについて調べました。

森本 なぜそのテーマについて調べようと思いましたか。

相原 昔テレビで見て、「貧困」について興味を持ったからです。

森本 そのテーマを調べて、自分が思ったことはありますか。

相原 私は実際にカンボジアに行って、孤児院とかに行ってみたんですけど、そこで子どもたちはとても笑顔で、でも、勉強をちゃんとすることもできないっていう現状があったりで、自分がどれだけ恵まれた環境で過ごせてるかっていうことを、改めて感じました。

大石 ちなみに先輩は、何を研究しましたか。

森本 私は「トリックアート」について調べました。

大石 本当に、自分の興味を持ったことについて調べられるんですね。

森本 そうですね。私はもともと研究は苦手で、うまくできるか不安だったのですが、調べていくうちにもっと知りたくなり、最終的には自分が思う以上の研究をすることができました。

大石 先輩、2年次から自分で時間割を作ることができるって聞いたんですが。

森本 そうなんです。武庫総では150を超える選択科目の中から、自分の希望に合った時間割を作ることができるんです。その中でも、今回は2つの特色ある科目を紹介します。

まずは、人間関係論を選択している吉原詩織さんのインタビューをお聞きください。

森本 「人間関係論」っていうのは、どのような授業ですか。

吉原 ひとつの話題をグループになって何人かで議論したり、心理ゲームをやったりします。

森本 人間関係論をとった理由ってありますか。

吉原 私の将来就きたい仕事や、多くの人と関わる仕事なんで、コミュニケーション能力を上げようと思ったからです。

森本 人間関係論をとって良かったって思うところはありますか。

吉原 初めて会った人とか、年下の人と話すことに、抵抗がなくなりました。

大石 心理学なんて、大学の授業みたいですね。

森本 そうですね。武庫総ならではの授業だと思います。

大石 ここまでのお相手は、武庫荘総合高校放送部 1年大石穂と、

森本 2年森本理沙子がお送りしました。

森本・大石 さようなら！

稲村 いかがでしたか。それでは、次回の放送もお楽しみに。

以 上